

令和4年4月26日

住宅局住宅政策課

インターネットによる物件情報収集が大きく増加しています！

～令和3年度住宅市場動向調査の結果をとりまとめ～

令和3年度住宅市場動向調査の結果をとりまとめましたので、公表いたします。

本調査は、個人の住宅建設に関して影響を受けたことや資金調達方法等についての実態を把握し、今後の住宅政策の企画立案の基礎資料とすることを目的として、平成13年度から毎年度実施しているものです。

令和3年度調査は、新型コロナウイルス感染症拡大後の状況を初めて把握した調査であり、物件・施工者に関する情報収集方法について、「インターネットで」と選択した割合が直近5年間で大きく増加していることが分かりました。

1. 調査の概要

(1) 調査対象者

令和2年度中（令和2年4月～令和3年3月）に住み替え・建て替え・リフォームを行った世帯を対象として、注文住宅、分譲住宅、既存（中古）住宅、民間賃貸住宅及びリフォーム住宅の別に調査を行った。

(2) 調査項目

住み替え・建て替え前後の住宅、世帯の状況、住宅取得等の資金調達の状況等

2. 調査結果の概要

(1) 物件・施工者に関する情報収集方法（資料「調査結果の概要（抜粋）」 参考1）

- 物件・施工者に関する情報収集方法について、「インターネットで」を選択した割合は、直近5年間で大きく増加。

(2) 住宅選択の理由（資料「調査結果の概要（抜粋）」 参考2）

- 住宅選択の理由について、「立地環境が良かったから」など住宅種別によってその理由は様々であるが、既存住宅取得世帯では「住宅のデザイン・広さ・設備等が良かったから」を選択する割合が前年度調査から増加。

(3) 設備等に関する選択の理由（資料「調査結果の概要（抜粋）」 参考3）

- 設備等に関する選択の理由について、「間取り・部屋数が適当だから」など住宅種別によってその理由は様々であるが、注文住宅取得世帯では「高気密・高断熱住宅だから」を選択する割合が前年度調査から引き続き最も高い。

(4) 既存住宅にした理由（資料「調査結果の概要（抜粋）」 参考4）

- 既存住宅にした理由について、既存マンション取得世帯では「リフォームで快適に住めると思ったから」、「リフォームされてきれいだったから」を選択する割合が前年度調査から増加。

3. 調査結果の公表について

調査結果の詳細については、資料「調査結果の概要（抜粋）」および下記URLを参照ください。

https://www.mlit.go.jp/report/press/house02_hh_000173.html

※ なお、国土交通省では、「建設工事受注動態統計調査の不適切処理に係る再発防止策検討・国土交通省所管統計検証タスクフォース」において、本統計を含む国土交通省所管統計の点検・検証を進めているところであることを申し添えます。

問い合わせ先

国土交通省 住宅局 住宅政策課 原・須田（内線39-217, 39-234）

TEL 03-5253-8111（代表） 03-5253-8504（直通） FAX 03-5253-1627